

■ 榎本 剛史（消化器外科，講師）2015年11月 7日～ 14日

平成 27 年度医療技術等国際展開推進事業の一環で、11 月 12 日にベトナム・ホーチミン市にある Cho Ray 病院術後管理セミナーで発表の機会を得ることができました。消化器外科大河内信弘教授、国際連携室秋山稔先生には、深く御礼申し上げます。

私は「Perioperative management of digestive surgery in University of Tsukuba」という演題で、約 10 年前より本院でおこなわれている、ERAS protocol にもとづく術前・術中・術後管理を報告いたしました。

事前に Cho Ray 病院の Chief surgeon である Trung 先生から、「患者の術後疼痛管理に関して発表してほしい」と要望があったので、筑波大学附属病院で行われている、硬膜外麻酔・TAP ブロック・PCA・術後 NSAID 投与などの multimodal patient care の実例を、写真で示しながら説明しました。特に硬膜外麻酔に関しては、indication から limitation までベトナム側と日本からそれぞれ意見交換ができました。県立中央病院集中治療科 星拓男先生にもコメントをいただき、活発な議論が行えました。

<活動時の写真>



切除標本指導



カンファレンスでの意見交換



セミナーでの発表